



年 組 名前

道新で  
ワークシート

## 夕張・清水沢の歴史遺産

炭鉱の往時をほうふつとさせる旧北  
炭清水沢火力発電所

【夕張】市内にある旧北炭清水沢火力発電所の見学ツアーを行う一般社団法人清水沢プロジェクトが、施設のファンづくりに向け、見学者と会員制交流サイト（SNS）でつながりを持つ活動に力を入れ始めた。施設は将来、更地化される計画があり、その際に存続を求める力にしたいと考えている。

（志村直）

## 旧北炭発電所存続へ 全国のファン増やせ

## 地元社団法人 ネットで発信

北炭の自家発電所として1926年（大正15年）に完成。周辺の炭鉱に電力を送る心臓部として最大出力5万瓩を誇ったが、相次いだ閉山に伴い、1992年に廃止された。国有地にあるため、更地にして返還する必要があり、98年に産廃業者による解体が始まった。

2011年には、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団（岩見沢）などが建物をアト空間に変えて無料公開を始め、それを機に作業はストップしている。現在残るのは全盛期の約4分の1だが、炭都・夕張を象徴する炭鉱遺産として威容を誇り、18年からは同プロジェ

クトが有料でツアーを行ってきた。同プロジェクトは施設は炭鉱遺産として価値が高いとしており、建物を保存したい考えだ。

このため、今年に入って「電力所倶楽部」の名前でフェイスブックを開設。過去の見学者に連絡をとり、交流を呼び掛け始めた。同プロジェクトが施設にまつわる最新の情報を発信し、施設への関心を持ち続けてもらうのが狙いだ。

施設見学は人気で、今年は新型コロナウイルスの影響で公開期間も短く、一時は札幌からの来訪も制限していたにもかかわらず、6月以降で10件以上の予約が入った。同プロジェクトの佐藤真奈美代表は「この歴史遺産を保護したい。そのためファンから存続に向けた意見を聞いていきたい」と話している。

2020年7月15日（水） 朝刊 空知版 16P（記事は再編集しています）

①旧北炭清水沢火力発電所を保存したい理由を書きなさい。

②炭鉱遺産を残すことにどのような意義があるか、あなたの考えを説明しなさい。

展開：石炭の主な使い道と、日本の石炭の主な輸入国を調べてみよう。

【使い道】

【主な輸入国】